



市の決算と財政状況

平成30年度の各会計決算と主な取り組み

決算は9月10日から開催の定例市議会にて審議されています。水道事業会計と下水道事業会計の平成30年度決算は9頁でお知らせします。

問い合わせ 財政課（市庁舎5階、☎65・4106）

一般会計の収支

平成30年度の決算額は、歳入が817億5597万円、歳出が808億9022万円、差引額が8億6575万円でした。（図1）

この差引額には、平成30年度中に事業が完了しなかったことから、令和元年度に繰り越した事業の財源9万円も含まれており、これを除く実質的な黒字額は8億6566万円でした。（表）

平成29年度決算と比較して、市税が2億8424万円増加した一方、国庫支出金と道支出金のほか、地方交付税や諸収入などが大きく減少しました。

歳入の状況

平成29年度決算と比較して、市税が2億8424万円増加した一方で、国庫支出金と道支出金のほか、地方交付税や諸収入などが大きく減少しました。

諸収入は、新規貸付額の減少に伴う貸付金の返還金などが減少したことで、14億3181万円減少し、歳入全体では36億9237万円減少となりました。

平成29年度決算と比較して、街地再開発事業への補助などにより商工費が10億4831万円増加しました。

一方、土木費は例年より降雪が

図1 一般会計の歳入・歳出



※〔〕は前年比 ※歳出の各項目には、関係する職員の給与費を含めています。

表 一般会計と特別会計の決算

会計区分	歳入	歳出	翌年度繰越事業財源	実質収支
一般会計	817億5597万円	808億9022万円	9万円	8億6566万円
特別会計				
国民健康保険会計	167億6393万円	165億6335万円	—	2億58万円
後期高齢者医療会計	23億7484万円	22億8691万円	—	8793万円
介護保険会計	148億6813万円	143億7444万円	—	4億9369万円
中島霊園事業会計	6150万円	6150万円	—	—
簡易水道事業会計	1億61万円	8895万円	—	1166万円
農村下水道事業会計	1億3841万円	1億3841万円	—	—
ばんえい競馬会計	252億3886万円	251億7080万円	—	6806万円
駐車場事業会計	8348万円	8348万円	—	—
空港事業会計	8億8466万円	8億8466万円	—	—
合計	1422億7039万円	1405億4272万円	9万円	17億2758万円

図2 実質公債費比率の推移

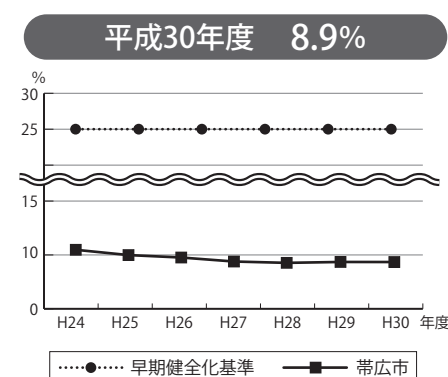
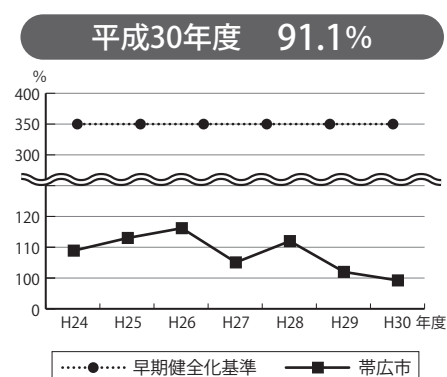


図3 将来負担比率の推移



「将来負担比率」は、一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。家計に例えると、住宅ローンなどの借入金の残高が、現在の年収に占める割合になります。市の平成30年度の財政状況はいずれも早期健全化基準^{※2}を下回っています。（図3）

「実質公債費比率」は、一般会計などが負担する長期の借入金の返済や、それに準ずる支出が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です（過去3カ年平均）。家計に例えると、住宅ローンなどの返済額の合計が年収に占める割合になります。（図2）

※1 普通会計 全国の自治体の財政状況を比較するための会計基準。市では一般会計に中島霊園会計と空港事業会計を加えたもの。
 ※2 早期健全化基準 財政破綻を防止するために設けられた危険水準を表す。四つの健全化判断比率のうち一つでも基準値を上回ると、財政の健全化に取り組む必要がある。

帯広市の財政状況

少なく、除雪経費が減少したことなどで、11億8741万円減少したほか、災害復旧費は、平成28年度の台風被害に対する復旧事業がおおよそ完了したことで11億2309万円減少し、歳出全体では41億3689万円減少しました。

特別会計の収支

市の会計には、一般会計のほか、国民健康保険会計や介護保険会計、ばんえい競馬会計など、全部で九つの特別会計があります。

実質赤字比率と連結実質赤字比率

特別会計は、利用者が負担する保険料や使用料などが主な財源で、収入と支出の関係を明確にするため、一般会計と区分して経理を行っている。特別会計の決算額は、表の通りです。

普通会計^{※1}の実質的な赤字額が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標が「実質赤字比率」です。これに、特別会計や企業会計も含めた指標が「連結実質赤字比率」です。

これからの帯広市の財政

帯広市の財政は、健全化判断比率などから見て、健全な状況を維持しています。しかし、高齢化の進行に伴う社会保障費の増加や、公共施設の老朽化に対する対応が必要となってきた一方、地方交付税などは減少していることから、今後も厳しい財政運営が続くことが予想されます。

こうしたことを踏まえ、限られた財源の中で、事業の選択と集中を図りながら、「フードバレーとまち」をはじめとする各種施策の推進に取り組み、将来のまちづくりを進めていきます。

平成30年度に実施した主な事業

平成30年度に実施した主な事業の一部を「第六期総合計画」の体系に基づき紹介します。

「安全に暮らせるまち」

- ▷市役所庁舎内への浸水を防ぐ止水板の導入【957万円】
- ▷全国瞬時警報システム受信機の更新【246万円】
- ▷町内会などの防災活動に対する支援を拡大【13万円】
- ▷帯広競馬場の耐震改修工事およびふじまるビルの耐震補強設計に対する補助【3723万円】
- ▷水槽付消防ポンプ自動車の更新【3897万円】 ーなど



水槽付消防ポンプ自動車



庁舎に設置した止水板

「健康でやすらぐまち」

- ▷灯油価格高騰対策として、生活弱者に対し灯油引換券を交付【2061万円】
- ▷介護保険施設などの整備に対する補助【508万円】
- ▷妊娠期からセルフプランや必要に応じて支援プランを作成し、子育ての不安軽減や問題の深刻化を予防【151万円】
- ▷ときわの森保育所の改築に対する補助【2億2562万円】
- ▷へき地保育所認可化に向けた施設整備など【5731万円】
- ▷子育て世帯の経済的負担を軽減するため、幼児教育の段階的無償化【586万円】 ーなど



改築したときわの森保育所

「活力あふれるまち」

- ▷十勝・イノベーション・エコシステム（創業・起業支援の仕組みづくり）の推進【5227万円】
- ▷西3・9周辺地区第一種市街地再開発事業に対する補助【17億5471万円】
- ▷十勝地域の観光情報の発信や、観光客の誘致促進に向けた取り組みとしてテレビ番組の撮影の受け入れを支援【600万円】
- ▷十勝産食材の販路開拓など、フードバレーとかちの推進【951万円】
- ▷十勝管内でのサイクルイベントの開催に対する支援【150万円】
- ▷フードバレーとかち食彩祭2018の開催に対する支援【450万円】
- ▷第34回国際農業機械展の開催に対する支援【1000万円】
- ▷長イモ冷凍とろろ製造施設の整備に対する補助【5億4900万円】

- ▷チーズ向け原料乳の高品質化のための施設整備に対する補助【283万円】
- ▷木材加工流通施設の整備などに対する補助【4733万円】 ーなど



フードバレーとかち食彩祭2018の様子

「自然と共生するまち」

- ▷公園施設の整備やバリアフリー化【1億7709万円】
- ▷中島地区エコタウン整備エリアの緑地整備【6006万円】
- ▷帯広の森の園路整備【1812万円】 ーなど

「快適で住みよいまち」

- ▷特定空家^{※3}解体に対する補助の拡充【482万円】
- ▷市営住宅の建て替え・改善工事【4億8518万円】
- ▷地域優良賃貸住宅の整備に対する補助など【1937万円】
- ▷火葬場の長寿命化改修【4444万円】
- ▷除雪グレーダ（除雪車両）の増車【3752万円】
- ▷空港運営の民間委託にかかる準備作業【8043万円】
- ▷空港臨時駐車場の拡張【700万円】
- ▷空港滑走路・灯火の改良実施設計など【4450万円】 ーなど



除雪グレーダ（除雪車両）

「生涯にわたる学びのまち」

- ▷小学校の外国語指導講師（ALT）を増員【343万円】
- ▷小中学校の各普通教室などに教材を映し出す大型提示装置および実物投影機を設置【1188万円】
- ▷小中学校および南商業高校の老朽化したボイラーなど暖房設備の改修【1億1023万円】
- ▷小中学校および南商業高校の校舎トイレの洋式化【1241万円】
- ▷新小学1年生に対する就学援助費（新入学学用品費）の支給の前倒し【751万円】
- ▷動物園の新たな魅力づくりに関する検討を行う委員会の設置と、市民向けフォーラムの開催【21万円】
- ▷繁殖を目的とした、シロフクロウ（2羽）の導入【14万円】
- ▷寄贈された文化ホールの椅子の設置に伴う施設改修【3773万円】
- ▷国の重要文化財に指定された八千代A遺跡出土品の公開のため、百年記念館常設展示室を一部改修【308万円】
- ▷フードバレーとかちマラソン大会開催に対する支援【460万円】
- ▷日本クラブユースサッカー選手権U-15大会開催に対する支援【200万円】
- ▷ワールドカップスピードスケート競技会やアイスホッケー世界選手権開催に対する支援【2302万円】 ーなど



動物園のシロフクロウ

「思いやりとふれあいのまち」

- ▷コミュニティセンターのトイレの洋式化【398万円】
 - ▷静岡県松崎町との開拓姉妹都市締結40周年や米国スワード市との国際姉妹都市締結50周年を記念した訪問団の相互派遣交流【619万円】 ーなど
- 松崎町開拓姉妹都市締結40周年記念事業



「自立と協働のまち」

- ▷市道民税、固定資産税および軽自動車税について、口座振替手続きの簡素化のため、窓口にペイジー端末を導入【14万円】
- ▷次期総合計画策定に向けた総合計画策定審議会の開催【102万円】 ーなど

※3 特定空家 帯広市が、倒壊など著しく保安上危険となる恐れがあるなどと判断し、認定した空き家。